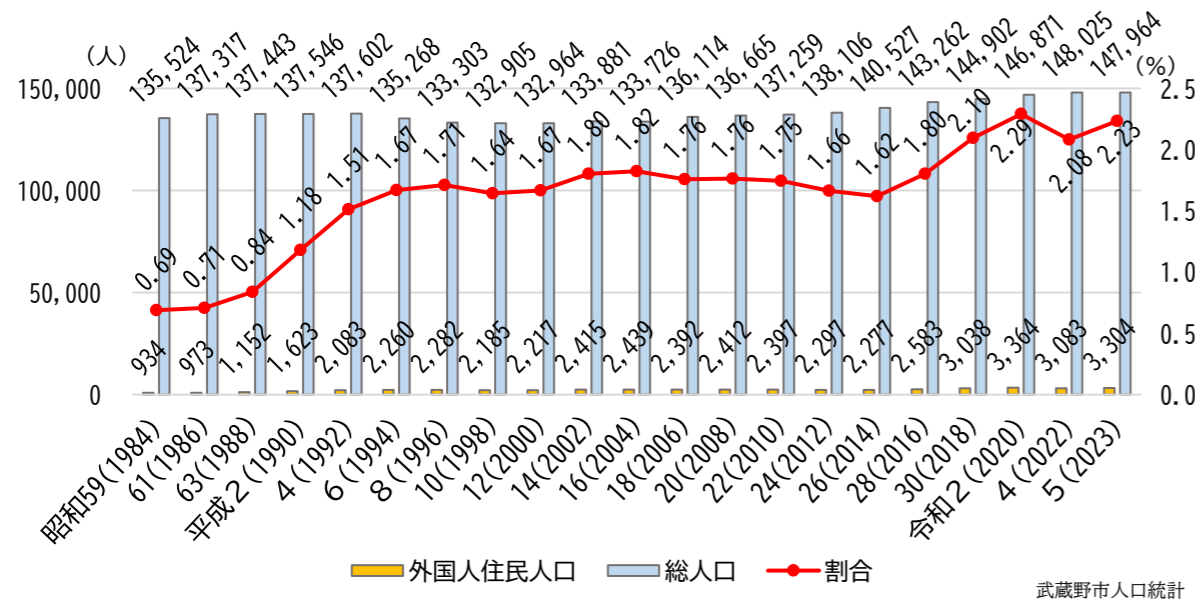


武蔵野市の外国人住民人口の推移（各年1月1日現在）



国籍・地域別在留外国人比率（武蔵野市の上位7国籍・地域）

	中国	韓国	米国	ネパール	台湾	ベトナム	フィリピン
武蔵野市	34.6%	15.0%	7.8%	6.3%	5.4%	3.8%	3.1%
多摩26市	34.0%	14.3%	3.7%	4.5%	2.8%	9.2%	9.2%
東京都	39.2%	15.4%	3.4%	4.7%	3.4%	6.6%	6.0%
全国	25.1%	13.9%	1.9%	4.2%	1.8%	16.1%	9.8%

<令和4(2022)年6月末> 出入国在留管理庁 在留外国人統計 第3表 市区町村別 国籍・地域別 在留外国人

このプランにおける言葉の定義について

このプランでは、日本国籍を有していても文化的背景などが外国にある市民なども広く含むものとして「外国人市民」という言葉を用いています。

外国籍であっても日本で生まれ育ち自分の国に住んだことがない人、日本国籍であっても日本語が全く話せない人や、外見から日本人・外国人と決めつけられることに違和感を覚える人がいることを理解することも重要です。

武蔵野市多文化共生推進プラン概要版 令和5(2023)年3月発行

編集・発行 武蔵野市 市民部 多文化共生・交流課

所在地 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1806 FAX 0422-51-9408

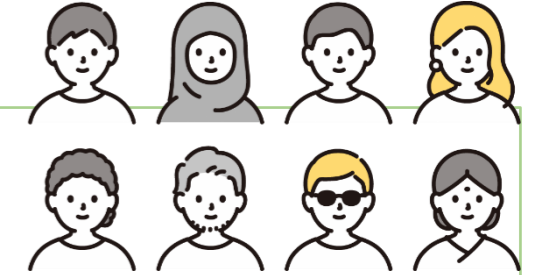
E-MAIL sec-koryu@city.musashino.lg.jp

プラン全文は
こちら→



武蔵野市多文化共生推進プラン 概要版

策定の背景



- ☑ 日本国内の在留外国人数は約296万人で増加傾向にあり、多国籍化も進んでいます。
- ☑ 武蔵野市の在留外国人の数は約3,300人で、市の総人口の約2%です。
- ☑ 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくような、多文化共生の地域づくりを推し進める必要性が増していることから、国は地方公共団体に対し、それぞれの地域の実情に応じた「多文化共生推進プラン」を策定するよう要請しています。
- ☑ これを受けて、本市や関係団体の取組みを多文化共生の視点で捉えなおし、武蔵野市第六期長期計画でも掲げた多文化共生の実現に向けたプランを策定しました。

プランの位置づけ



- ☑ 国や東京都の多文化共生についてのプラン、指針等を踏まえつつ、武蔵野市第六期長期計画に基づき、本市の多文化共生推進の基本的な考え方と施策の方向性を示す指針です。

計画期間



- ☑ プランの期間は武蔵野市長期計画（調整計画を除く）と連動するものとします。



基本的な考え方 多様性を認め、お互いに支え合う

誰もがいきいきと暮らし、誇りを持てるまちへ

これまでの本市における様々な多文化共生の取組みによって築かれた、市民の相互理解や支え合いを今後も大切にしていけるとともに、さらにグローバル化が進むであろうこれからの時代において、日本人も外国人もいきいきと安心して暮らすことができ、誇りを持てるまちになることを目指します。

◎ 基本目標

(1) 誰もが暮らしやすい地域共生社会の形成



(2) 生活を支えるコミュニケーション支援と情報発信の強化



(3) 誰もが安心して地域生活を送るための環境整備



◎ 施策の方向性

① 多文化共生を知るきっかけづくり

多文化共生を知るきっかけの場を提供します。

② 青少年期からの多文化共生への理解の促進

青少年海外派遣事業などで多文化共生への理解を深めます。

③ 地域の多文化共生活動を担うボランティアとその活動の広がり支援

武蔵野市国際交流協会（MIA）のボランティア活動が広がるよう支援します。

④ 誰もが参加できる事業の推進に向けた取組み

外国人市民も事業、イベントに参加しやすくなるようにします。

⑤ 事業者等への啓発

外国人市民を雇う、またはお客様とする事業者に、多文化共生について理解を深めてもらえるよう啓発します。

⑥ ダイバーシティの推進に係る他施策との連携

多種多様な市民がお互いの違いに関わらず安心して生活できるよう、他施策との連携を深めます。

⑦ 偏見や差別の解消に向けた取組み

外国人市民が偏見や差別を感じることをなく、啓発活動等に取り組み、誰もが暮らしやすいまちを目指します。

① 行政窓口・情報の多言語化

市役所の窓口や、市からの情報発信の多言語対応を進めます。

② 「伝わる」日本語の使用の推進

多言語対応だけでなく「やさしい日本語」も積極的に使用します。

③ 日本社会や地域における慣習等を伝える手段の検討

日本人、外国人がともに快適に暮らせるよう、慣習やルール等を外国人市民に伝える手段について検討します。

④ 日本語教育の推進

国や東京都等と連携して、地域における日本語教育を推進します。

⑤ 市やMIAの取組みについての広報強化

国籍等に関わらず、広く市民にMIAの取組みを知ってもらい、MIAの活動に参加してもらえるよう周知します。

武蔵野市国際交流協会（MIA）とは

国際相互理解と地域の多文化共生を図るため、市民主体の国際交流、国際協力、在住外国人支援を行っています。ほとんどの事業は、外国人を含む会員のボランティア活動によって行われています。

所在地 〒180-0022 武蔵野市境2-14-1 スイング9F

TEL 0422-36-4511 E-MAIL mia@coral.ocn.ne.jp



① 防災意識の啓発と災害時の支援体制の整備

自然災害の経験が少ない外国人市民に対して、日頃からの防災対策を呼びかけます。災害が起きた際の情報発信や避難所の受入体制を整えます。

② 教育機会の確保

教育を受ける機会が失われないよう、教育制度の理解促進と就学手続きの支援をします。帰国・外国人教育相談室で相談支援、日本語の学習支援を行います。

③ 誰もがその人に合った福祉サービスを受けられる体制整備の支援

日本語の能力に関わらず、誰もが必要なときに福祉サービスを受けられるよう、サービス提供機関を支援します。

④ ライフステージに応じた支援の連携

出産・子育て、介護などライフステージに応じた支援を外国人市民が利用できるよう、様々な組織や部署、人の連携を図ります。

⑤ 感染症流行時における対応

感染症の流行時は、感染拡大を防ぐため、多言語による情報提供や相談対応を行います。

